



荻田町立図書館

新着推し本紹介のこーな- (2月号)



『公務員女子のおしごと相談室』

村川 美詠 // 著 学陽書房 請求記号 318.3 /ム/ 資料番号 610163354

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611405>

【紹介文】

「公務員女子って、こりやまたピンポイントな本だな～」と思いながら手にした一冊。公務員でない人には関係ない？と思いましたが、読み進めていくと前向きに働く女性の背中を押してくれています。「若手時代にやるべきこと」「中堅時代にやるべきこと」をベスト10で紹介されており、どの世代にも読みやすくなっています。

『町田忍の縁起物のひみつ』

町田 忍 // 文+写真+絵 天夢人 請求記号 387 /マ/ 資料番号 610163966

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611527>

【紹介文】 新年の図書館イベント「福袋」と「開運☆だるまみくじ」は、おかげさまで今年も好評でした。見るだけで嬉しくなるし、ついつい探してしまう縁起物。新年だけではなく、季節ごとの縁起物や季節に関係ない縁起物など、日本には縁起物があふれています。この本では、身の回りにある縁起物の由来や歴史を、庶民文化研究者(自称)の筆者が庶民文化の目線で、絵や写真を交え紹介しています。岩手県遠野市の河童のイメージで育った私は、兵庫県福崎町辻川山公園の河童像に驚愕!でも、実物を見たい!!

『部屋で自律神経を整える』

小林 弘幸 // 著 興陽館 請求記号 498.3 /コ/ 資料番号 610163230

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00610915>

【紹介文】 コロナ禍になって2年。外出自粛やテレワーク等で家にいることが増えました。運動不足になったり、ストレスを感じたり。そんな生活の中で、何となくだるい・寝付きが悪く、食欲がない・イライラする等の体調不良を感じている人が増えているそうです。もしかしたらその謎の体調不良は自律神経の乱れのせいかも?と本書では述べられています。「好きな香りをかく」「就寝前にぬるめの緑茶を飲む」「ゆっくと深い呼吸をする」これらは本書に書かれている、部屋で出来る自律神経に「いいこと」リストの一部です。まずは簡単なことからおうち時間に試してみたいはかがでしょうか?

『宇宙飛行士野口聡一の全仕事術』

野口 聡一 // 著 世界文化社 請求記号 538.9 // / 資料番号 610163370

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611373>

【紹介文】 この方は何回、宇宙にいったのだろう。行く準備も大変だが、宇宙での仕事、船外活動を含め無重力空間でどれだけこなしてきたのだろう。「究極のテレワーク」とあるが、国際宇宙ステーションからの動画配信を分単位で送信することは、地上にいたことと変わらないのではないかと。特に仕事とプライベートの切り替えはたやすくはないらしい。「ながら仕事」となりかねないとか。でも、宇宙からのTwitterで今の状況がわかり、宇宙が近くなった感じがする。「宇宙好き」な人も、「テレワーク」する人も両方楽しめる本である。

『はじめてのガラスペン』

武田 健 // 著 実務教育出版 請求記号 589.7 /タ/ 資料番号 610162786

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611216>

【紹介文】

表紙からガラスペンの美しさに目を奪われます。軸からペン先まで芸術品のようであり、なおかつ筆記具として実用もできる。基本の扱い方の他、30工房から184本ものガラスペンをいっしょに見えます。愛好家(ガラスペンを楽しむ達人!)8名のインタビューでは、実際使用しているからこそその表現例やアドバイスがたくさんあり、ガラスペンの魅力をこれでもかと思われられます。入門書としても、煌めきに癒される一冊としてもお薦めです。

『鉄道の食事の歴史物語』

ジェリ キンジオ // 著 原書房 請求記号 686.2 /ク/ 資料番号 610164055

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611692>

【紹介文】 誰しも一度は憧れた、あの食堂車。食堂車で食べる料理の美味しいこと!もはや映像でしか、私たちは出会うことがない。食堂車の歴史は、1868年の食堂車「デルモニコ」。コンソメスープ、チキンのクリームソース煮、サーロインステーキ、パイやアイスクリームなどが出されたことと記されている。長距離移動の交通手段が列車だった頃、私たちの旅の多くは車窓からの景色と食事が楽しみだったのだと改めて思う。ついでに『船の食事の歴史物語』(サイモン スポルディング // 著)もあわせて読んでみるのも楽しい。

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』 (児童書・心と体のこと)

井上 祐紀 // 著 KADOKAWA 請求記号 498 /イ/ 資料番号 620063461



<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611326>

【紹介文】 コロナの感染拡大で家や学校でも感染しないように気を付けながら生活をして、いったいどれくらいたつのでしょうか。気づかないうちに心と体が疲れてしまっていないですか?大変な時代を過ごしている今だから、少し立ち止まって、深呼吸して、気持ちを切り替えることも必要なのは。この本を読んで少しでも自分を休ませることができて、一歩でも気持ちが前向きになれるといいなと思います。

『ぼくちのねこのはなし』 (児童書・ものがたり)

いとう みく // 作 くもん出版 請求記号 913 /イ/ 資料番号 620063917



<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00611541>

【紹介文】 おうち時間がふえて、ペットブームです。そして、2月22日は、ネコの日ということで、ネコのおはなしです。ぼくが生まれる前から飼われていたことは16才になり、人で言うなら、80才くらいのおじいちゃんねです。ぼくより先にいたからおにいちゃんみたいな感じだった。でも、年をとってくるとだんだんできなくなることが増えていき、病気にもなってしまう。ネコだけ、ことらはぼくらのたいせつな家族。ことらにとって何がいちばん幸せなのか。

ぼくちのねこのおはなしです。



問い合わせ先

苜田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間: 9:30~17:30 (木・金は19:00まで。本館のみ)

ホームページから蔵書検索もできます



(2022.2.6発行)